

おやさま 教祖のぬくもりに包まれ 笑顔ほころぶ



発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029 北海道
岩見沢市9条西6丁目21
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com
ホームページ
bariten.main.jp

LINE 友達登録
お願いします



↑ 4月18日、婦人会おぢばがえりの様子。詰所前にて
← 4月29日、ひのきしんデー岩見沢会場（記事は共に P3）

四月おぢば帰りの御礼

4月18日、晴天のもと「おやさま御誕生祭」が執り行われました。このおめでたい春の御祭りに、四年ぶりに夕張大教会から多くの皆様がおぢばへお帰り下さいまして、誠に有難うございました。明けて19日の「婦人会総会」も、沢山の婦人会員様にご参集下さり、おやさまは喜んで下さった事と存じます。遠くおぢばへ、北海道から時間と費用を工面して帰るのは大変な事で、人をお連れしたり、お身体に不自由があれば尚の事大変と存じます。

「身上の処より、何でもおぢばへ出てと思う。おぢばへ出てと思う理は十分受け取る。：（明治24年1月13日）」というお言葉を先日勉強させて頂き、そこには、身体の子は大変だろうが、今の自分を喜んでとにかく帰っておいで。そうすれば神が受け取って、後の事は速やかに成ってくるんだよという親心が込められています。

また「皆遠く所から厭わずして来る心だけ受け取って、十分満足与えてやらにやならん。満足すれば一所やない。世界に映る。：（明治37年2月6日）」と、帰ってくる子供的心を受け取って、神は喜ばせてやりたい。せつかく帰ってきた子供が不足しては理（神の働き）が消えてしまうから、どこまでも親里で満足させてやりたい、一人の子が満足して国元に戻れば、その子の周りにも喜びが映るといってお言葉もある事を知りました。

私達の信仰では、親里おぢばへ帰ろうと決心した可愛い我が子を、親神が連れて帰って下さるのだと教えられます。

世の中の風光明媚な景色に心洗われる経験も素敵ですが、魂の実家へ帰るおぢば帰りは、実家で待つ親神様、おやさまから、私達子供がそれぞれ元気に暮らして、誰か他のきょうだいを救ける事ができるように理のお土産を下さる、他には代えられない「魂の親と子」の姿だと思います。

今一つ、感謝致したい事は、各地の教会やご家庭で、四月の月次祭と共に、おやさまへお祝いの言葉を挙げて下さいました会長様はじめ、教会の皆様真心に心より御礼申し上げます。子供さんとケーキやお菓子を作った下さった方もあり、きつとおやさまは喜びの事と存じます。おぢばへ思いを届けて下さり、有難うございました。私も一層おやさまへ感謝の「日の寄進」に邁進したいと存じます。

大教会長 藤田大和

お知らせ

教祖一四〇年祭全教会一斉巡教 3月～5月

月次祭 6月15日（木） 9時30分開扉献饌

青年会夕張分会総会 7月9日（日）

おやさまのお喜び下さる 御姿をこの目に浮かべて

四日月次祭の様

4月15日月次祭は、朝、肌寒いものの、日が昇るにつれて爽やかな春の陽気となった。また、札幌では桜の開花宣言が出され、大教会境内地の桜も、蕾の大きさに期待が高まった。

9時半より開扉献饌、祭儀式のち祭文奏上。その後、座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。土曜日の休みということもあって、幼児、小学生がたくさん参拝に来て、賑やかに遊ぶ姿も見られた。



神殿講話・富山知一役員

講話には富山知一役員(栗山)

が立ち、「おちばも段々と暖かくなり、3月の詰所も2月に引き続いて賑やかな様子で、ありがたい事だなど思います。コロナ禍になつて3年、それぞれがおちばへ帰る喜びやおつとめを勤める喜び、また人とコミュニケーションをとる事の喜び、今まで当たり前のように思っていた事が、非常に有難い事であったと、学ばせてもらったように思います。また今後の政府の5類移行を受けて、一段と動きやすくなって、これまで以上に共々に勇んで取り組めるのではないのでしょうか。

先日大教会にて行われた青年会の『あらかじょうりよう入門塾』にOBとして参加させて頂きました。そこで司会の渡部修太君が『ピュアな心で参加して下さい』と何度かも言っていて、改めて『ピュアな心』ってどういう事だろう、と自分の中で考えました。言い換えれば『素直な心』という事でしょうか。子どもの頃といえば、良いも悪いも分からず、親に褒められたり、叱られたりして判断していたように思います。

に思います。成長するにつれ、自分自身の経験や周りの環境に影響されていき、素直な心から少しづつ遠ざかっていったように思います。素直な心で通れなくなっていたのは、教祖のひながたをどこかで忘れてしまっていたのでは、と思うんです。

私達よふぼくは、おつとめをする事や教えを聞く事で、ほこりを払う事が出来るというのは、本当にありがたい事だと思います。子は親を慕い、信じ、いくつになっても疑いません。その親が命懸けで通り、伝えてくれたこのお道は、疑う余地もありません。素直に、『この道は間違いない』と信じて通っています。親をどんどん辿っていくば、教祖に行きつきます。この元の親が通って下さったひながた、これを素直な心で通らせてもらおう事が大切ではないでしょうか。『こうしたら、こうなるんだよ』『こうやって通るんだよ』と教えて頂いたものを、理屈抜きに信じて通る事が、教祖にお喜び頂き、私達が成人している道なのではないかと思えます。

3月に夕張詰所にて『イライラしない子育て講座』が開講され、受講しました。

た。内容をまとめると、親子の会話では、親が子どもの目線で成長に合せて会話をしないから、イライラするのであり、目を合わせたり子どもの目線に立つ事により、お互いイライラしない、というものでした。私達よふぼくも親神様からすれば、みな子どもでありま。日々の生活の中で、周囲の環境や事情に囚われて、いつしか親の教えから目線を逸らして過ごしている、身上や事情というかたちでお知らせを頂いて、改めて目線を親神様の方向へ向けて頂けると日々感じていきます。ですから、私達よふぼくも、常に親神様の方へ目線を向けて、親からのメッセージをしつかりと受け取れるよう、教祖に喜んで頂けるよう、そのよ



少年会員がお下がり作りのお手伝い

うに通ることで、成人へと近付けるのではないのでしょうか。只今は教祖百四十年祭の三年千日の一年目であります。この旬にしっかりと親神様と会話をしながら、成人の道を歩ませて頂けるよう、努力しようと思えます。論達第四号にて真柱様は『全教の心を一つにしたい』と仰っていました。簡単な事ではありませんが、それぞれが親の思いを受けて一生懸命通る事で、全教が一つの心に近づくと思えます。』と話された。

続いて、大教会長が「栗山の會長さんが先程紹介して下さい、『イライラしない子育て講座』、実に3年ぶりに詰所にて行事を行わせて頂きました。この講座は、本部の里親連盟というところで作られたプログラムだそうです。本部の先生から『おちばへ帰ってくれた信者さん達に、何かおみやげを持って帰ってもらおう為に、ひとつやってみないか』と声を掛けて頂いて、この度開催させて頂きました。子どもそれぞれに目線を合わせる事の大切さ、改めて感じさせてもらいました。また先程の栗山の會長さんの話でハッとしました。我々の親である教祖は、一人ひとりに目線を合わせて下さっているんですね。そしてたくさん色々とお話下さった

事というのが、みかぐらうたやおふでさきだったり、逸話篇なんです。教祖も一人ひとりに合わせて、工夫してお話し下さっている。私達も出会う方々それぞれに、工夫して目線を合わせて、接していく事が大事だな、と先程の講話を聴いて感じました。

大教会として、ひのきしんとおぢば帰りを目標として掲げさせて頂きました。これからはそれぞれの教会毎に、無理なく勇めるような形で進めていって欲しいと思います。おぢばの理を受けた教会でのひのきしんは、おぢばでするひのきしんと同様に神様に受け取っていただけたらと思います。少しでも時間を作って、所属や上級、また大教会に足を運んで、ひのきしんをして下さい。

また、子ども達を一人でも多く親里に連れ帰り、親神様・教祖に喜んで頂きましょう。その理が、またそれぞれの教会を、賑やかに盛り上げてくれると思います。」と話された。また、4月より家族で大教会住込としてつとめられる、渡部修太さん、はづきさん、凜空さんが紹介された。

祭典終了後、参拝場では撤饌と同時にお下りの袋詰めを行っているが、この日は子どもたちも手伝い、喜んでお下りを受け取っていた。

(記・藤田豊)



【寄稿】
**末代へ道をつなぐため
 「みちのだい」となる
 心を育む**
 教祖御誕生祭・天理教婦人会第 105 回総会



おぢばで 4 年ぶりに婦人会総会が開催され、夕張は婦人会員 33 名を含む 42 名（婦人会調べ）の方が帰らせて頂きました。

前日のおやさま御誕生祭は、お天気も良く、中庭に準備されたお祝いの言葉や、桜を模した看板、オーケストラの皆様など、お祝いの明るいムードを味合わせて頂きました。おつとめが終わると教祖殿でも祭文が奏上され、「おやさま御誕生日おめでとございます。」との、大亮様のご発声が聞こえた時には、その場に居る事ができて、しみじみ有り難い気持ちになりました。

総会当日は、直前に降りだした雨の為、急遽殿内へ移動する事になり、混雑しましたが、神殿で婦人会長様のお声が聞けた事を喜びました。「婦人は我が子は勿論、信者さんや周りの方を、言葉や態度で明るく育てる事ができる。」という意味のお話に、自分達の役割の大切さを学び、心のお土産を頂けたように思います。

おぢばでこそ味わえる、喜びの感覚は特別なもので、次も誰かをお連れして帰りたいと、改めて思いました。

(直轄 藤田美由紀)

教祖ご誕生祭に 3 年ぶりにおぢばへかえらせていただきました。

18 日はとても温かく、ありがたくお参拝できました。

19 日の総会は雨の予報の為、皆、雨具やビニール袋を持って、中庭パイプ椅子に座ってましたが、急遽殿内に変更になりバタバタでした。

よろづよ八首唱和では、隣の方がすすり泣きだした姿に触れ、コロナ禍による影響を受け 3 年振りに人数の制限無しで総会に参加できた喜びに、感極まったの事と感じました。

婦人会長様のあいさつの中で、「自分自身が育つ努力をしながら、育てる人と共に成人の歩みを進めていくことを常に心がけましょう」とありました。

「常に」という所が一番難しいですが、少しでも親の思いに沿えるようつとめてまいりたいと思います。

教祖 140 年祭に向って、「ぢば」で元気を注入してほしいので、来年のご誕生祭には 1 人でも多くの方を誘って親里ぢばへ帰らせてもらいたいです。

(幌向 西尾貴子)



各地一斉に教友が集った (写真・札幌北西支部)

また、例年より高温の日々が続いた事もあり、思いがけず満開となった桜やこぶしの花に目を楽しませる会場もあり、春を感じながら身体を動かす喜びを味わった一日となった。

(記・藤崎勇)

全教一斉ひのきしんデー

4 月 29 日、全教一斉ひのきしんデーが実施され、全国各地でも夕張に繋がる人が多く参加し、共に真実の汗を流した。

ひのきしんデーでは、各支部ごとに実施会場が設定され、地域の教友と協力してひのきしんを行う。この日、北海道全域は雲に覆われ、快晴の中とはいかなかったが、それぞれが心に晴天を抱いて、草引きや落ち葉集め、窓拭きやゴミ拾いなど、ひのきしん場所に応じた作業に精を出した。

コロナを乗り越え 再スタート

教会こども会・鼓笛体験会



夕張大教会では、4月22日に夕張団主催の教会こども会が開催され、少年会員12名が参加した。今回は、少年会本部が提唱する、「教会こども会を実施しよう」という活動方針に沿うようにとの思いで行われ、少年会員に信仰を伝えるため、会員同士の交流をはかり、またコロナを機に長らく中止していた鼓笛活動再開の足がかりにしようと、鼓笛体験もスケジュールに組み込まれた。

まず、10時すぎに大教会神殿に集合し、藤田豊団長あいさつ、続いて5月21日に控えたおつとめ総会に向けて、鳴物練習が行われた。その後、大食堂に移動してケーキ作り。4月18日に迎えた教祖お誕生日のお祝いをしようと、それぞれが思いのデコレーションケーキを作成し、お供えした。

午後からは、鼓笛体験会。ファイフ、鍵盤ハーモニカ、ドラムと、それぞれ希望のパートに分かれて、楽器にふれた。ファイフでは、初挑戦の会員も多数いたが、すぐに音が出るようになるなど、鼓笛黄金期の到来を予感させた。

最後に、使用した各部屋を掃除するひのきしんをつとめ、お供えしたケーキをおいしくいただいて、こども会を終了した。次回は6月10または11日に計画しているので、たくさんの会員に参加してもらいたい。

(記・岩佐善昭)

愛知寮に入寮して早一ヶ月が経ちました。愛知は初夏の気配がしております。

僕は愛知寮の73期生として入寮し、6人のメンバーで日々、にをいがけに歩いています。4月は慣れないことばかりの日ですが、楽しく過ごしております。

愛知 張志心
高橋 悟の
布教日誌 vol.1



一ヶ月達成を目指して歩いていきます。4月の目標は、訪問件数2000件。とにかく、たくさんの方に声を掛けよう、目標を定めました。

戸別訪問の他に、道行く人や駅前などでリーフレットを配り、最終的には20800件に達し、無事目標を達成することができました。

愛知寮では月間目標を決めて、一ヶ月達成を目指して歩いていきます。4月の目標は、訪問件数2000件。とにかく、たくさんの方に声を掛けよう、目標を定めました。

戸別訪問の他に、道行く人や駅前などでリーフレットを配り、最終的には20800件に達し、無事目標を達成することができました。



5月の月間目標は、戸別訪問9000件とおさづけ150回です。目標を達成できるように頑張っていきたいです。

私たち住み込みます!

4月8日より大教会に渡部修太さん、はづきさん夫妻が住み込みで勤めていきます。

凛空君と共によりしくお願ひします。(下写真)



世界へ、にをいがけ おちばがえり報告

タイからの留学生カヌンさん(左写真)。江別の酪農学園大学博士コース在学。まもなくタイと日本での獣医師免許を取得。

岩見沢東ロータリークラブでの関わりから藤田文雄前会長さんがおちばを案内しました。

4月3日から6日まで夕張詰所に滞在し、ご本部参拝や友人と吉野桜を観に行ったりで、おちばの数日を満喫されました。

今月の回廊ひのきしん



4月25日13時より、御本部にて、4名で回廊ひのきしんを行いました。

庶務部 4月

- ▽初席
- 松田 二三人(祝梅) 4・12
- 桜庭 未羽(栗山) 4・18
- ▽教人資格検定講習中期・後期 4・15
- 大西 麻友美(馬追)
- 竹田 悦子(馬追)
- ▽話所ひのきしん
- 井内 寛治(上富良野) 4・15
- 井内 智美(上富良野) 4・15
- ▽話所教養掛
- 5月 富山知一(栗山)
- 松尾澄夫(継立)
- 6月 岩佐善昭(志加ノ谷)

大教会日誌抄 4月

- 1日 たすけ推進会議
- 3日 会長、保護司活動
- 4日 会長、支部例会、組例会
- 5日 会長、継立分巡教
- 8日 会長、おちばより帰会
- 9日 会長、札美分巡教
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭
- 16日 会長、保護司活動
- 17日 会長夫妻、おちばへ
- 18日 教祖御誕生祭
- 19日 婦人会総会
- 22日 会長夫妻、帰会
- 22日 鼓笛体験会
- 24日 会長、前会長、おちばへ
- 26日 会長、本部神殿当番
- 27日 本部月次祭
- 27日 遥拝式
- 28日 会長、かなめ会
- 29日 前会長、帰会
- 30日 全教一斉ひのきしんデー
- 会長夫人、婦人会支部例会